

プロジェクトを  
選んで支援!



割り勘で  
夢を  
かなえよう!

事業指定助成プログラム

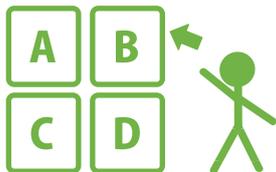
# 第9期

寄付募集期間

2016年12月15日(木) ~ 2017年2月28日(火)

※現金・郵便振替での受付は2/20(月)まで  
2/21(火)~28(火)はクレジット決済のみ

①



このカタログの中から応援したい取り組みを選んでください。

②



同封の郵便振替用紙でゆうちょ銀行にて寄付をお願いします。インターネットからも可能です。

③



賛同者から集まった寄付により助成を行い取り組みを実行します。実施後は成果を報告します。



公益財団法人

みんなでつくる財団おかやま

OKAYAMA Share Foundation

# 里親家族の 笑顔と成長 のために😊 支援の輪をつなげよう

目標 **350,000 円**

美作大学里親・里子支援サークル



美作地区の里親・里子の行事・余暇活動支援や里親会のサポートを通して里親・里子会の交流、里子の学習支援、社会的体験の場の提供、里親制度の啓発活動を行います。この活動を通じて「地域で支える里親・里子支援」の構築を目指します。

## 日本には社会的養護を必要とする児童が 4万6千人いる。

平成 28 年厚生労働省より出された資料によると、日本では虐待や育児放棄、予期しない妊娠など、何らかの理由により親子分離された児童は全国で 4 万 6 千人にのぼり、平成 25 年から約 1.2 倍増加しています。

そのうち里子として里親に預けられる委託率は 16.5% です。世界と比較するとオーストラリアでは 93.5%、アメリカでは 77%、イギリスでは 71.7% で国際的に見ると日本は最低水準となっています。

岡山県の里子委託率は平成 26 年度末で 19.2%、隣県と比較すると広島県 13.6%、香川県では 20%、鳥取県 20.8%、島根県 22.3% となっており、「子どもにとって家庭環境での養育が重要」とする国際基準（約 7 割）からもかけ離れています。

国連総会採択決議「児童の代替的養護に関するガイドライン」では社会的養護が必要となった場合、最善の委託先は親族とし、それが無理なら特別養子縁組、次に里親養育、最終手段は施設入所と取り決められている中、日本においては 85% が施設入所となっています。これらの原因として里親制度の理解が進んでいないため登録件数が増えないこと、里親を支援するサポート、支援の体制が不足していることが挙げられます。

## 子ども一人ひとりに 愛情を注ぐことができる「里親制度」。

社会的養護が必要な子どものうち 60% が親からの虐待を受けています。

大人との関係性を形成する大切な年齢時において、一人ひとりに愛情を注ぐことができる里親制度は一般家庭と同様の生活をすることによって育まれる安心感を得ることができます。そして人間関係の繋がりなど、地域における社会経験を積むことができ、将来の自分の家庭を築くためのモデルともなりえます。厚生労働省は里親委託ガイドラインを作成し、優先的に里親へ子どもたちを措置し、平成 31 年までに里子等委託率を 22% に引き上げる目標を立てています。

## そのためには民間の里親支援が必要。

美作地区には民間の里親支援機関がなく、マンパワー不足による里親・里子支援が不十分となっています。また、美作地区里親会では「里親数が近年減少傾向である」「里親会の行事を行うことが負担となっている」「全国的に里親のリクルートと支援が大きな課題となっている」「NPO 等の里親支援機関ができてつつあるが、美作地区では十分機能を果たしているとは言い難い」と言った課題があります。



## 里子里親を支援する

### 美作大学里親・里子支援サークル。

私たちは、2014年より「美作大学里親・里子支援サークル」を発足させ、美作地区里親会と岡山県津山児童相談所と連携を図り、美作地区の里親・里子を支援すると共に、里親制度の理解促進を図るため、チラシの作成、託児のサポートなど里親会に協力してきました。

里親・里子の交流を目的としたサロン活動の企画運営補助、事務局の発送事務の手伝い、里親・里子交流キャンプの実施、里親大会への参加と運営補助等の活動も行っています。月に2回程度里子さんを預かり、学生と一緒に活動する「ウキワクフレンド」では、学生と共に社会体験を促進すると共に相談に応じたり、学習支援、レクリエーション、スポーツ活動等を行っています。この活動は、これまでの成長過程のなかでの体験不足を補い、自己肯定感を高める事を目的としています。また、子育てに疲れた里親が、ほっと息を抜く事ができる場所（レスパイトケア）として捉え、里子さんだけの単独参加を原則として活動に取り組んでいます。

また、毎年一般市民を対象とし、「親と子のコミュニケーション」～怒らず子どものやる気を引き出す～（子育て研修会・里親・里子サポーター養成講座）を開催し、「子育て」を通して里親制度への啓発と里親・里子支援サークル活動への理解を進めています。

### この活動を多くの方に知っていただき、地域で支える里親・里子支援を行いたい。

美作地区の里親会を支援することにより、この活動を多くの方に知っていただくとともに、里親制度の啓発を行い、登録里親の増加を推進したいと考えています。さらに「里親・里子をサポートできる地域の創造」「里親・里子サポーターの養成」を目指します。また、里親・里子支援サークルがモデルとなり活動を継続していく事により、里親・里子への関心が誘発され、学生や市民の「里親支援機関」が各地に増え、里親支援専門相談員を始めとする多種多様な人や団体による支援の輪が広がり、里親・里子が暮らしやすい社会になる事を目指しています。

### 里親支援のネットワークを構築し、里親・里子が暮らしやすい社会実現を目指す。

児童相談所・弁護士・児童施設・里親会や大学、そして市民団体の方々とのネットワークを構築し、月1回里親・里子サポーター会議を開催し、情報交換を進めていきます。またこのネットワークの中には社会人の参加を促し、支援の量・幅・質を向上させます。里親・里子支援を行い、里親・里子同士の交流を促進することにより、絆を強め、お互いが相談できる環境を醸成すると共に、里親向けの研修講座を開催し、サポート、支援の充実を図ります。市民向けのサポーター養成講座を開催し、地域の方々へ里親・里子制度の理解を深めていただくと共に、広く支援を呼びかけます。

## ● ご寄付のプランと特典

寄付プランごとの特典は下記の通りです。

- 1) **ウキワク ブロンズ会員プラン（1口 1,000円）**  
お礼状送付（データ）、報告書送付（データ）
- 2) **ウキワク シルバー会員プラン（1口 3,000円）**  
お礼状送付（データ）、報告書送付（データ）、報告会招待
- 3) **ウキワク ゴールド会員プラン（1口 5,000円）**  
お礼状送付（冊子）、報告書送付（冊子）、報告会招待
- 4) **ウキワク プラチナ会員プラン（1口 10,000円）**  
お礼状送付（冊子）、報告書送付（冊子）、報告会招待、セミナーご招待

## ● 寄付金の使途について

今回いただいたの寄付金は、下記内容に使用させていただきます。

- ・里親研修会の研修費
- ・市民向けフォーラム会場費
- ・里親・里子支援のための活動費
- ・ウキワクフレンドの活動費

## ● 想定されるリスクとチャレンジ

目標金額に達しなかった場合は、経費削減に努め、優先順位の低い事業は取りやめあるいは縮小し、事業継続を図ります。

寄付目標金額よりも多く集まった場合は研修内容をグレードアップして回数を増やし、より細かい里親・里子支援を行います。また、里子などの託児（レスパイトケア）に利用する遊具などを購入します。

## ● プロジェクト実施団体

美作大学里親・里子支援サークル 里親・里子サポーターズ  
学生代表：藤永明里沙（担当教員：有岡道博）  
設立年月日：2014年4月

■実施団体の詳細な情報はおかやまシェア・ウェブをご覧ください。  
「shareweb 里親・里子支援サークル」でインターネット検索！



## ● 「割り勘」とは？

事業指定助成プログラム、通称「割り勘」とは、寄付を原資とした助成事業です。NPO・市民団体等が取り組む事業内容を社会に発信し、事業への賛同者を募ることで、「寄付により資金集めを支援する地域版クラウドファンディング」です。



## ● ご寄付の方法

### クレジット決済

モーションギャラリーのウェブサイト内からクレジット決済にて寄付をすることができます。

### 郵便振替

本カタログに挟み込んでいるものをご使用いただくか、事務局及び申請団体へ連絡いただき振替用紙を受け取ってください。

### 現金

説明会の会場やみんつく財団事務所で受付しております。事務局までお問い合わせください。

## ● ご寄付をいただいた後の流れ

- 1) ご寄付をいただきましたら、入金確認後、電子メールにてお礼と受付確認の連絡をさせていただきます。
- 2) 募集期間終了後、助成金額が確定（1カ月程度見込み）したのち、領収書及び助成結果通知を送らせていただきます。※領収書は、未発行の場合のみ発送させていただきます。  
※モーションギャラリー経由（クレジット）の場合は領収書は発行されません。
- 3) 助成時に、各団体へ寄付者名簿をお渡しし、事業実施後、事業報告が各団体より行われます。みんなでつくる財団おかやまのウェブサイトでも事業結果をご報告いたします。

### Q. 目標金額に達できなかった場合はどうなりますか？

集まった金額で助成（資金提供）を行います（当法人の運営経費5%+システム利用料を差し引いた額）。提案事業の目的に沿ったものを、事業規模の縮小もしくは他の資金を充当することにより実施できるものを選定しております。詳しくはウェブサイトの募集要項をご覧ください。

### Q. 逆に、期間内に目標金額を超えたらどうなりますか？

目標額を超えて集まった金額も含め、助成し、提案事業の発展に活用させていただきます。

### Q. 目標金額はどのようにして決まっていますか？

事業提案者の申請額に、当法人の運営手数料（助成額の5%+システム利用時はシステム利用料）を加えたものになっています。



## みんなの何とかしたいをカタチにする仕組み。

みんなでつくる財団おかやま、通称「みんつく」は、530名以上の方からの寄付4,133千円をもとに設立した「みんなの何とかしたいをカタチにする」市民コミュニティ財団（公益財団法人）です。「つなぐ、つたえる、シェアをする」をキーワードに、広く多くの人に知ってもらいながら資金を集める地域版クラウドファンディング「割り勘」、個人でも少額から基金を設置できる「冠基金」などの仕組みを提供しています。ヒト・モノ・カネ・情報の資源循環を通じて、社会課題の解決を進め「安心で持続可能な地域社会の実現」を目指しています。

公益財団法人

みんなでつくる財団おかやま

OKAYAMA Share Foundation



086-239-0329

info@mintuku.jp

www.mintuku.jp

みんつく財団 検索

〒700-0026 岡山市北区奉還町三丁目15-8 奉還町第一ビル第11号  
寄付の相談や、講演依頼もお気軽にご連絡ください